

令和2年度 1学期終業式あいさつ

令和2年7月22日

5月11日に再開され、例年より一ヶ月短くなった1学期もいよいよ今日が最終日となりました。新型コロナウイルスの感染拡大が、世界や日本の社会にこれほど大きな影響を及ぼすとは誰も想像できませんでした。

学校生活も大きく変わってしまいました。毎日の体温チェックやマスクの着用、できる限り3密を避けるような行動をお願いしてきました。幸い現在まで本校関係者で感染した人はいませんが、これからの時期、人の移動が頻繁になるので油断は出来ません。新しい生活様式を常に意識しながら、感染しないよう、させないよう、十分に注意して欲しいと思います。また、万が一周囲に感染した人が出たとしても、常に「もし自分だったら」と考え、決して誹謗・中傷することなどあってはなりません。誰もが安心して希望をもてる社会であって欲しいと思います。

1学期を振り返って、心に残っている二つのことを話します。

まず、一つ目は玲瓏祭です。生徒・職員だけの一日開催でした。誰もが初めての試みでした。短い期間でも、生徒会の皆さんのリーダーシップのもと、全校生徒が一生懸命準備し、工夫を凝らし、素晴らしい玲瓏祭となりました。閉祭式でも話したように、多くの困難がありました。私は「本当にやってよかった、できてよかった」と感じています。どうすれば出来るかを職員・生徒皆で考え、中止という選択をせずに開催できた事は、今後につながる貴重な経験になったと思います。

これからの学校生活においても、壁にぶつかったとき、「やれない理由を探すのではなく、やれる方法を考えることが自分の成長につながる」と心に刻んで欲しいと思います。

二つ目は、多くの部活動の大会、コンクールが中止となってしまったことです。特に3年生はこれまで2年間積み重ねてきた頑張りを発揮する機会が無くなってしまいました。どんな慰めの言葉をもらおうが、本人にしか分からない無念さがあると思います。

話は少しそれますが、レスリング女子でオリンピック3連覇を成し遂げた、吉田沙保里選手が引退会見で語った話がすごく心に残っています。

「一番印象に残っているメダルは」という質問に対して彼女はこう答えました。「リオオリンピックの決勝で敗れた時、負けた人はこういう気持ちなんだなとわかりました。そして、競い合う仲間がいたから頑張れたことに気づきました。負けを知ることができたりオの銀メダルが、自分を一番成長させてくれました」

大事なものを失った時でも、自分の考え次第で、もっと大きく大事なものを得られる機会になるのだと思います。

全国大会・全県大会は無くなりましたが、硬式野球や軟式野球、いくつかの部活動では代替大会が行われ、3年生が出場機会を得た部活動がありました。「出場が叶わなかった思い」「勝てなかった思い」など、様々な思いが想像できます。しかし、頑張った2年間の経験は、その人しか持ち得ない一生の宝となっているはずです。また、多くの人々が、

目標を失ってしまった高校生心の傷を思い、「何かしてあげられる事はないか」と真剣に向き合ってくれました。

3年生には、今の現実を受け入れ、支えてくれた多くの方々へ感謝し、今回の出来事は必ず未来の自分に生きるのだと信じて次のステージに向かって欲しいと思います。

夏休み中のお願いを話します。

まず、1・2年生へ。この夏、勉強や部活動、その他、多くのやるべき事があると思います。それに真剣に向き合えば向き合うほど「出来ないこと」「分からないこと」が出てくるはず。その時こそ、「自分が成長できるチャンスだ」と考え、逃げずに立ち向かって欲しい。嫌なことを避け、何にも挑戦しなければ「悔しい」思いもせずすみませぬ。「自分の弱さに苦しむ」こともありません。しかし、自分を今より高めたいと思うなら、「悔しい」思いを大切にすることです。自分を変えたいと思うなら「わからない」ことをそのままにしないことです。この夏の成長に期待します。

3年生に向けてです。進路について勝負の時が迫っている皆さんはきっと誰もが「精一杯頑張っている」と思います。頑張っている人に「頑張れ」と言っははいけないという考えもありますが、私はあえて「最後の最後まで全力を尽くし頑張って欲しい」と言いたい。

受験というのは、たぶん誰かのためと言うより、自分自身のために頑張る機会だと思ひます。これからの長い人生では、自分のためだけに頑張ると言うことは、おそらくほとんど無い。社会では、自分のためにも頑張るが、大切な誰かや何かのために頑張ることがほとんどだからです。そして、人から感謝され、人に感謝する社会の中でこそ、豊かな人生が送れるものです。

今、自分のために全力を尽くし頑張ることは、皆さんの心をたくましく成長させ、将来どんなことがあっても立ち向かえる大きな力になると思ひます。

本高116期生、一丸となって頑張ってください。苦しい時は必ず先生方や友人、家族が支えてくれます。やれることを全力でやり抜く夏であって欲しいです。

最後に、この長期の休みの期間、何をおいても、自分を大切にしてください。

自分を大切にすると、常に自分の命を守る行動を忘れないこと。そして、高校生としての本分を守り、人として、してはならぬことはしないことです。

8月21日の始業式には、困難を乗り越え、たくましくなった皆さんと再会することを楽しみにし、夏休み前のあいさつとします。